

## ボランティア・スピリット・アワード概要

本アワードは、「未来を描くチカラ」をキャッチフレーズとして、“誰かのために何かを変える”ことを目指し自ら行動を起こしている中学生・高校生を応援するプログラムです。社会課題に気づき、それを自身の課題と捉え、挑戦と克服を繰り返しながら成長する中学生・高校生に感謝と称賛を贈ります。米国プルデンシャル・ファイナンシャルが1995年からアメリカで実施しているプログラムで、日本では1997年にスタートしました。26回目となる今回は、全国から活動人数11,740名（内訳：個人応募 71名、グループ応募 11,669名）の中高生からボランティア活動内容を綴った355通の応募が寄せられ、厳正な審査の結果、ブロック賞30組、コミュニティ賞150組が10月6日に選出されました。（注：上記応募数12月13日修正しております）

そして全国表彰式では、ブロック賞受賞者のボランティア活動が称えられるとともに、ブロック賞受賞者の中から文部科学大臣賞2組、全国賞8組、米国ボランティア親善大使2名が選ばれました。

## 今年度の応募内容の特長

今年も新型コロナウイルスの影響があったにも関わらず、非常に充実した活動内容が多数寄せられました。

とくにコロナ禍で被害を受けられた人たち、社会的・経済的に弱者となる人たち、動物などをサポート・保護し、コロナ禍で人との交流が制限されている中、いかに活動を広げるかという工夫や発想が見られました。一方で、ポストコロナで人との交流を復活させようという努力も見られました。また、自治体や企業、全国の仲間と連携するなど、中高生とは思えないほどに素晴らしい実行力を発揮されていた例や、SDGs（エスディーゼーズ）を意識して、持続可能な社会をめざし、様々な社会課題解決に取り組まれている例も多く見られました。また、SNSの活用やクラウドファンディング、アプリの開発など、デジタルを駆使しながら共感の輪を広げている点も中高生らしいと感じられました。

## 各賞の詳細

| 賞の名称         | 合計受賞数                   | うち<br>中学生部門                          | うち<br>高校生部門 | 受賞者に贈呈される記念品                       |
|--------------|-------------------------|--------------------------------------|-------------|------------------------------------|
| 文部科学大臣賞      | ブロック賞受賞者から<br><u>2組</u> | 1組                                   | 1組          | ボランティア活動支援金10万円、<br>表彰状、クリスタルトロフィー |
| 全国賞          | ブロック賞受賞者から<br><u>8組</u> | -                                    | -           | ボランティア活動支援金10万円、<br>表彰状、クリスタルトロフィー |
| ブロック賞        | <u>30組</u>              | -                                    | -           | ボランティア活動支援金5万円、<br>表彰状             |
| コミュニティ賞      | <u>150組</u>             | -                                    | -           | ボランティア活動支援金2万円、<br>表彰状             |
| 米国ボランティア親善大使 | ブロック賞受賞者から<br><u>2名</u> | 米国・ニューヨークおよびニューアークで<br>開催される全米表彰式に招待 |             |                                    |

※全米表彰式は、状況により中止となる可能性があります。

※応募者にはもれなく「ボランティア・スピリット賞」として、賞状と記念品を贈呈します。

## ブロック賞およびコミュニティ賞受賞者

今年度のブロック賞およびコミュニティ賞の受賞者については、  
ボランティア・スピリット・アワード公式ホームページからご覧いただけます。

<https://www.vspirit.jp/>